

海外で活動する  
医療従事者たち最  
終  
回開発途上国での  
看護師を取り巻く制度づくり

田村豊光 Tamura Toyomitsu

国立研究開発法人国立国際医療研究センター国際医療協力局／看護師

## 飢餓、震災、そして開発途上国へのつながり

皆さんは、「ハゲワシと少女」<sup>1)</sup>という写真をご覧になったことはありますか。1993年にアフリカのスーダンで撮影され、翌年には報道・文学・作曲の功績に対して贈られるピューリッツァー賞を受賞した作品です。この写真は、飢餓や人の尊厳などについて訴えており、多くの方が社会科の授業などを通じてご覧になっていると思います。

本誌の読者の皆様の多くは、設備の整った保健医療施設で子どもを対象に看護サービスを提供されていることと思います。また、日本という安定した社会のなかで、子どもの健康維持や疾病予防のために、行政や地域などで活躍されている方も多いことと思います。他方、「ハゲワシと少女」の写真に象徴されるように、深刻な飢餓状態、脆弱な社会、人間の尊厳に対する脅威、そして質の担保された保健医療サービスが十分に提供されていない状況が、今の世の中には多く存在していることも確かです。

私がこの写真に心奪われているなか、1995年に阪神・淡路大震災が発生しました。出勤前にテレビで観た燃え上がる神戸の街の映像は、今でも忘れません。私は当時、救命救急センターに勤務していたことから、発災数日後に救

護医療班のメンバーとして現地入りしました。ライフラインが寸断され、医療資機材が不足し、医療施設が医療施設として機能していない状況を目の当たりにしたとき、飢餓、震災、そして開発途上国というキーワードが、私の中で一本につながりました。

これが、私が国際保健医療協力に興味を抱いたきっかけです。そして、外国語が堪能なわけでもなければ、留学したこともなかったため、英語とフランス語の語学習得に励む(苦しむ?)日々が始まりました。その後、独立行政法人国際協力機構(JICA)の事業を通じて、アフリカ西部のセネガル共和国(以下、セネガル)で3年3カ月、アフリカ中部の大国であるコンゴ民主共和国(以下、コンゴ民)で4年2カ月、そしてインドシナの小国であるラオス人民民主共和国(以下、ラオス)で1年半の在外生活を送ってきました。そのほか、主に仏語圏アフリカの国々を中心に短期滞在を繰り返し、多くの政府開発援助<sup>註1)</sup>の事業に参画しました。では、これらの国々で看護師である私が何をしてきたのか、紹介したいと思います。

## 看護師不在で看護が提供できるか？

人工知能(artificial intelligence ; AI)の開発が著しい昨

表1 人口1,000人あたりの医師、看護師、助産師数

	セネガル (2016)	コンゴ民 (2013)	ラオス (2014)	日本 (2016)	アメリカ (2015)
医師	0.07	0.09	0.50	2.41	2.60
看護師、 助産師	0.31	0.47	0.97	11.52	8.55
合計	0.38	0.56	1.47	13.93	11.15

[World Health Organization : Welcome to Global Health Workforce Statistics. <http://apps.who.int/gho/data/node.main.HWFGRP?lang=en> (2020年1月3日最終アクセス)を参考に作成]

今ですが、AI看護師が登場するには、まだまだ先が長いだろうと思います。そうすると、やはり人間の看護師がいないと、看護サービスが提供できないということになります。他方、看護師でないものが看護サービスを提供することも、タスクシェアリングの観点から可能かもしれませんが、ただし、安全・安楽の担保や業務独占の観点から、十分な議論を経て制度を整備していく必要があるでしょう。世界保健機関(World Health Organization ; WHO)は、人口1,000人あたりの医師、看護師、助産師などが4.45人以上配置されることを推奨<sup>3)</sup>しています。これは、持続可能な開発目標(sustainable development goals : SDGs)<sup>註2)</sup>を達成するために必要な医師、看護師、助産師などの最低限の数を示しています。表1<sup>5)</sup>にいくつかの国の数を示します。絶対的に数が不足していることがわかります。

看護師の量の確保と同時に、能力のある看護師を確保することも世界的に重要な課題として認識されています。藤田ら<sup>6)</sup>は、看護師を含む保健専門職に係る規定枠組みを明示し、保健専門職の質を担保する枠組みの一つとして国家

註1) 開発協力とは、「開発途上地域の開発を主たる目的とする政府及び政府関係機関による国際協力活動」のことで、そのための公的資金をODA (Official Development Assistance : 政府開発援助)といえます。政府または政府の実施機関はODAによって、平和構築やガバナンス、基本的人権の推進、人道支援等を含む開発途上国の「開発」のため、開発途上国または国際機関に対し、資金(贈与・貸付等)・技術提供を行います<sup>2)</sup>

註2) 持続可能な開発目標(SDGs)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です<sup>4)</sup>



写真1 ラオス初となる看護師国家試験の様子

この試験は、受験資格を有する一部の学生を対象に、トライアル試験として2019年9月に実施しました。看護師国家試験本試験は、2020年9月に実施される予定です

試験があることを指摘しています。

読者の皆様は、大学や看護学校などで看護学を学び、疑う余地なく、看護師国家試験を受験されたことと思います。そして、国家試験合格者による申請に基づいて、看護師免許が厚生労働大臣名にて交付されたことでしょうか。日本では、国家試験や看護師免許の交付や登録制度が整っているわけです。他方、世界に目を向けてみると、国家試験が導入されておらず、大学や看護学校などを卒業すると、国家試験を受験することなく、看護師として業務につくことができる国が数多く存在します。私は、コンゴ民では既存の看護師国家試験制度の強化を、ラオスでは看護師国家試験制度の創設を手伝ってきました(写真1)。看護師の質を担保する国家試験は、ある意味、看護師の輩出量を制限する制度です。他方、多くの開発途上国では、前述したように、看護師の人数が不足しています。量と質のバランスを常に考慮しながら、長い時間をかけて能力のある看護師が、適切な場所に、適正な数が配置されるように、国の計画立案やその実施を手伝っています(写真2)。

## 連載終了にあたり

これまで11回にわたり「海外で活動する医療従事者たち」と題し、国立研究開発法人国立国際医療研究センター国際医療協力局に所属する看護職が、それぞれの現場の経験や想い、研究などを通じて得た知見を綴ってきました。



写真2 保健省関係者との協議の様子

コンゴ民では、看護師などの保健専門職が、どこに何人配置されているかを調査して、計画策定の根拠となるデータを取りまとめました



写真3 看護学生の臨地実習の様子

低出生体重児に対し、学校教員と共に、看護学生が静脈ラインを確保している様子。この児は、その夜に死亡しました

聞き慣れない専門用語や国名が多くあったかもしれませんが。しかし、私達が読者の皆様に伝えたいメッセージは「看護の対象は世界中にある」ということです。そして私達が大切にしていることは、臨床の感覚を忘れない、ということです。

私達は、国の制度づくりや計画の実施にかかわることが多くあります。そのため、日常的に派遣された国の政府の高官と共に仕事をし、時には保健大臣と協議することもあります。しかし、常にその国の臨床、地域、教育機関の現場感覚を忘れず、日々の業務に取り組んでいます(写真3)。読者の皆様の対象は、目の前にいる子どもであったり、健康維持や疾病予防のための多数の子どもであったりすると思います。読者ご自身の目線を、病棟、病院、地域、都道府県、日本、アジア、世界へと少しずつ広げていくと、また違った看護がみえてくるかもしれません。

#### 【文 献】

- 1) The Pulitzer Prizes : Kevin Carter, a free-lance photographer.  
<https://www.pulitzer.org/winners/kevin-carter-free-lance-photographer> (2020年1月3日最終アクセス)
- 2) 外務省：開発協力、ODAって何だろう。  
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/about/oda/oda.html> (2020年1月3日最終アクセス)
- 3) World Health Organization : Global strategy on human resources for health : Workforce 2030.  
<https://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/250368/9789241511131-eng.pdf;jsessionid=8D797CC8C9DA1D1B7B6A96F768D73513?sequence=1> (2020年1月3日最終アクセス)
- 4) 外務省：SDGsとは？  
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html> (2020年1月3日最終アクセス)
- 5) World Health Organization : Welcome to Global Health Workforce Statistics.  
<http://apps.who.int/gho/data/node.main.HWFGRP?lang=en> (2020年1月3日最終アクセス)
- 6) Fujita N, Matsuoka S, Koto-Shimada K, et al : Regulation of nursing professionals in Cambodia and Vietnam : a review of the evolution and key influences. Hum Resour Health 17(1) : 48, 2019.

# 小児看護

2020年 **3** 月号

## 看護師がみる「なにか変」 親が感じる「いつもと違う」